

地蔵田遺跡

出土品展示施設



遠賀川系土器



土 偶



管玉・勾玉



地蔵田遺跡の土器や石器など貴重な出土品（秋田県指定有形文化財）を展示し、パネルや映像などで遺跡を詳しく解説しています。また、企画展示コーナーでは、年に1回、御所野台地の遺跡群を紹介します。



木柵で囲まれた弥生時代(2,200年前)のムラが、全国で初めて発見された遺跡。
全国に先駆けて、市民による手づくり整備を行いました。
現在は、ボランティア団体「弥生っこ村民会」が遺跡のガイドやメンテナンスなどに活躍しています。



弥生っこ会



土器どきっこ会



ボランティアガイドの会

国指定史跡

地蔵田遺跡 弥生っこ村

地蔵田遺跡 出土品展示施設



平成28年度企画展示

縄文時代中期前葉～中葉の御所野台地

～ 下堤 A 遺跡を中心として～



43・44・50号竪穴住居跡 [下堤 A 遺跡]

縄文時代中期（5千～4千年前）は、前期（6千～5千年前）に引き続き温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、四季折々の豊富で安定した食料資源を背景に、縄文文化の一つのピークを迎えます。この時期には、秋田市域でも、遺跡数が飛躍的に増加することが分かっています。

生活の道具である縄文土器についても、東北地方南部の大木式土器と北部の円筒式土器が共存する状況が、前期から継承されました。南と北の文化圏が交わる地点が秋田市付近であり、異なる文化同士の交流が活発に繰り広げられたようです。

この度の企画展示では、中期前葉から中葉の代表的な遺跡である下堤A遺跡を中心にご紹介します。御所野台地では、中期後葉にかけて集落数が多くなりますが、下堤A遺跡はその基盤を作った人々の拠点集落です。出土品をとおして、この時代の暮らしの様子を感じていただくと幸いです。

下堤 A 遺跡出土土器



大木8a式土器 [縄文時代中期中葉]



円筒式と大木式の折衷型土器 [縄文時代中期前葉]



円筒上層a式土器 [縄文時代中期前葉]

弥生っこ村・出土品展示施設 ご利用案内

観覧時間 午前9時～午後5時

土・日・祝日はボランティア
ガイドが常駐しています
午前10時～午後4時(11月は3時まで)

観覧料 無料

開館日 4月1日～11月30日

●問い合わせ

秋田市教育委員会文化振興室
秋田市山王二丁目1番53号
電話 018-866-2246
<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/cl/zizouden.htm>

平成28年4月1日から
秋田市文化振興課

平成28年5月6日から
秋田市山王一丁目1番1号
電話 018-888-5607

周辺案内図



所在地 秋田市御所野地蔵田三丁目
御所野総合公園内